

19年度直接事業の予算・実績表

予算:13,146,000円
 ④生産力向上費用:7,596,000円
 ⑤創意工夫費用:5,550,000円

実績:12,261,681円
 ④生産力向上費用:5,159,855円
 ⑤創意工夫費用:7,101,826円

事業項目・事業名	19年度予算計画		19年度実績		記 事
	内容:時期・動員数・場所・担当・実施内容など	予算:人件費・事業費用	内容:時期・場所・担当など。	人件費・事業実績	
④-01.海岸清掃 (個別事業計画 P-)	実施時期:7月16日海の日実施。 動員数:68名*5H*1日=340H 68会メンバー全員対象 実施場所:3ヶ所~4ヶ所を選定 弁天島、竹名、イカ浜、タナバタケ 担当:実行委員会を編成して、実施に当る。 実施内容:海岸の清掃。アミ、プラスチックゴミの回収。	1.お茶、飲み物:12K 2.弁当代:90K 3.日当:160円(53人*3000円) 4.その他:38K 小計:300K	実施時期:7月16日 動員数:73名(ビジター22名) 実施場所:浅島など4箇所 担当:実行委員会 責任者:山口延行 内容:海浜清掃、ゴミ回収	1.お茶、飲み物:7,680 2.パン、その他:22,200 3.日当51名分:153,000 4.灯油、その他:4,455 187,335	1.7月16日、海の環境保全に対する県民の意識高揚を図ることを目的にJFしまねが事業主体となり、県下一斉に海浜清掃が実施された。 2.知夫村全域集落でも実行委員会を編成して、4ヶ所の海浜清掃を実施した。小雨にもかかわらず、ビジター22名を含む73名が参加した。
④-02.海底清掃 (個別事業計画 P-)	実施時期:7月~9月 動員数:5人*5H*5日=125H 実施場所:3ヶ所~4ヶ所を選定 竹名、イカ浜、タナバタケ、ア-バセ 担当:グループ編成する。(向濱、萬、江川、山下) 実施内容:海底の清掃。網・プラスチック・ゴミの引き上げ。	1.日当、その他:170K 2.僚船料、その他:30K 小計:200K	実施時期:8/25~9/9の3日間 動員数:4名*5H*3日 実施場所:来居湾内~石鍋湾 担当:実行グループ 責任者:向濱樽幸 内容:潜水による海底清掃	1.潜水作業日当:4名:88,000 2.用船料:16,000 3.ゴミ袋、その他:2,000 106,000	1.8/25~9/9までの3日間、潜水による海底清掃を実施。来居湾内から石鍋湾までを素もぐりにより、ゴミ回収。 2.ペットボトル、缶類、アミ、ロープ、タイヤ、ビニールシートなどを回収して分別処理を行った。湾内は大型ゴミが多く、手作業による回収が困難だった。
④-03.藻場・干潟管理 (個別事業計画 P-)	実施時期:6月~11月 動員数:2人*4H*4日=32H ダイバー使用。 実施場所:アワビの養殖漁礁にアラメプレート設置。 ジンバ、コンブは長尾地先に設置。 担当:グループ編成する。 実施内容:ワカメプレート設置。ジンバ、コンブ種系の設置。	1.アラメ海藻プレート:300K 2.ジンバ種系:100K 3.コンブ種系:100K 小計:500K	実施時期:12月16日 2月8日 動員数:3名 ダイバー2名 実施場所:浅島 赤灯台 担当:実行グループ サカイOB 立会者:矢田辰夫 矢田辰夫 内容:海中設置 海中設置	1.作業日当・用船料:28,052 2.クレモナロープ:19,180 3.コンブ種系:40,420 アラメ海藻プレートは④-41に加算した。 87,652	1.コンブ種系を青森県栽培センターより購入。親ロープに固定して、海中設置した。水深:14M。 2.アラメは知夫産の親アラメより種を取り、培養後プレートに付着させて、48枚作成した。 3.18年度の5基分、19年度の6基分、合計:11基にプレートをボルトで固定した。
④-04.産卵場・育成場の管理 (個別事業計画 P-)	実施時期:6月~11月 動員数:5人*5H*5日=125H 実施場所:タナバタケ、ア-バセ、キサネ、タケナ 担当:グループ編成する。 実施内容:養殖漁礁を調達⇒組み立て⇒搬入⇒投入あわびの放流漁礁として使用する。	1.鋼製フレーム/10基:1140K 2.ベンチフリウム80基:146K 3.僚船料:250K 小計:1,536K	実施時期:組立:12/18、設置:12/20 実施場所:赤灯台南側 数量:鋼製フレーム:6基 ベンチフリウム:48ヶ 立会者:矢田辰夫 責任者:山本 隆	1.アワビ養殖漁礁:1,050,735 2.ベンチフリウム:87,927 3.海中設置:200,735 4.ベンチフリウム送料:15,172 5.その他:20,995 1,375,564	1.アワビ養殖漁礁として、1350*1350*535の鋼製フレームにベンチフリウム8ヶを整列設置のもの6基製作した。 2.組立、海中設置はクレーン車、クレーン船を使用し、業者にお願した。全作業には実行グループ、メンバーが立ち会った。 3.19年より、ヒトデによる食害を避ける為に、養殖漁礁全体を魚網で被った。
④-05.ヒトデの駆除 (個別事業計画 P-)	実施時期:7月~3月(周年) 動員数:カナギ会全員対象。 実施場所:全地域が対象。 担当:カナギ会を中心にメンバー編成。 実施内容:ヒトデを駆除の為に採取して、買い上げる。	1.買上費用:30円*5000尾=150K 2.処理費用:50K 3.その他:50K 小計:250K	実施時期:3/19~3/31まで。 動員数:採取人数:17名 場所:各湾内とキサネ~イカハマ 実績数:11,098尾。 実行グループ:各地区代表7名で編成。 責任者:山口延行	1.買上費用:665,880 2.振込手数料:884 666,764	1.各地区代表7名で実行グループを編成。3/19~3/31まで17名で集中採取の結果、11,98尾を取ることが出来た。1人平均:652尾/39000円。 2.こんなに取れるとは思わなかった。少なくとも、食害に達していることから、20年も継続することを決めた。
④-06.養殖漁場の衛生管理 (個別事業計画 P-)	実施時期:4月~7月 動員数:2H*2人*24回=96H 実施場所:岩ガキ共同作業場、養殖漁場付近。 担当:岩ガキ会を中心にメンバー編成。 実施内容:1.加工場の整備 2.衛生管理備品 「検査後出荷」体制を目指す。 3.水質検査の実施	1.加工場、加工設備整備:2,000K 2.衛生管理:150K 小計:2,150K	実施時期:2月~6月。 場所:いかだ中央、取水口 回数:1回/1月 検査項目:大腸菌、ノロウイルス O-157、ピリオ、一般雑菌 検査先:島根県環境保健公社 実行グループ:岩がき会/山下一信	1.水質検査料:142,800 2.検査経費:48,402 191,202	1.2月~6月まで、1回/月のペースで始めて、海水検査を実施した。比較的きれいな海水であることを証明。 2.降雨時や海水温度上昇時に大腸菌数も増加することもわかった。 3.当分、水質検査を継続する意味はあるが、どう活用するのかを話し合っておかねばならない。たとえば・・・「一定条件になったら、出荷停止」とか。
④-07.植樹 (個別事業計画 P-)	実施時期:11月~3月。 動員数:68会全員を動員する。ボランティアを募る。 実施場所:西地区、東地区より、4ヶ所を選定。 担当:地区代表により、実行委員会を編成する。 実施内容:強化黒松、1000本を植樹。	1.種苗代:100K 2.下草刈、植樹場整備:550K 小計:650K	実施時期:3月22日・ 場所:浅島、渡津島、飯島 動員数:67名。(ビジター34名) 実行グループ:地区代表7名で編成。 責任者:向濱樽幸	1.下草刈り:夏:132,000 春:264,000 2.樹木支柱:97,335 3.パン、お茶:31,200 4.用船料/2隻:24,000 5.その他:11,227 559,762	1.海浜の環境保全には豊かな森、豊かな川が存在が大事であることは今や常識になっている。 2.漁業関係、農業関係、議会関係、役場関係と小・中学生合計67名の協力を得て、植樹を実施した。 3.強化黒松300本、コナラ200本を3ヶ所に植樹出来た。
④-08.密漁防止・漁場の監視 (個別事業計画 P-)	実施時期:7月~8月 動員数:2人*3H*50日=300H 実施場所:集落全域。 担当:全員対象。 実施内容:夏場に漁場監視・遊泳監視の為に見回りを実施。大漁祈願/海上パレード実施	1.漁場監視関係:400K 2.遊泳監視関係:300K 3.大漁祈願/海上パレード:200K 小計:900K	監視活動 海上パレード 実施時期:7月~8月 8月14日・ 場所:海岸全周 知夫湾内 動員数:のべ64名。 32隻/50名。 実行グループ:地区代表 ヨコワグループ 責任者:道川信経 萬 康	1.漁場監視関係:495,463 2.遊泳監視関係:300,420 3.海上パレード関係:0 795,883	①漁場監視:7/20~8/23、32日間の監視活動を実施した。違反者には許可内にもどる様に注意した。 ②遊泳監視:7/15~8/27の間、浅島の観光客、帰省客の遊泳監視活動を実施した。 ③パレード:8/14お盆に合わせて、ヨコワグループを中心に、大漁祈願・安全操業を祈願してパレードを実施。

事業項目・事業名	19年度予算計画		19年度実績		
	内容・時期・動員数・場所・担当・実施内容など	予算：人件費・事業費用	内容・時期・場所・担当など。	人件費・事業実績	記 事
④-09.操業秩序維持 (個別事業計画 P-)	実施時期 : さざえ禁漁/5~6月、あわび禁漁/10~11月 動員数 : 5名*5回*2H=50H 実施場所 : 集落全域 担当 : グループを編成する。 実施内容 : さざえ、あわびの禁漁時期を設定し守らせる。 モグリ採取禁止、アミによる採取禁止を徹底する。	1.監視活動 : 120K 2.使用船 : 50K 3.その他 : 30K 小計:200K	19年度、実質的な活動はなかった。	費用発生はなし。 0	1.禁漁時期の違反操業防止、密漁取締りを目的に見回りを計画したが実質的な活動はなかった。 2.浦郷警察署の「うらかぜ」との協力体制を取付けたために特別の見回りを中止した。禁漁期間中、特に違反操業もなかったし、苦情も発生しなかった。
④-10.種苗放流 (個別事業計画 P-)	実施時期 : 9月~12月 動員数 : 1人*60日 =60人日 実施場所 : 蓄養場、タナバタケ、ア-バセ 担当 : カナギ会を中心にメンバー編成。 実施内容 : アワビの稚貝購入⇒蓄養⇒放流⇒監視・観察 親バイガイ購入⇒蓄養⇒放流⇒監視・観察	1.アワビ関係 : 700K 2.オコゼ関係 : 50K 3.バイガイ関係 : 60K 4.その他 : 100K 小計:910K	あわび オコゼ クロバイ 時期 3/29 11/1 4月・5月 場所 赤灯台 白浜 浅島他、3ヶ所 数量 6000ヶ 4200尾 70KG メンバー 南家・矢田 浦郷・矢田 小前・矢田 方法 ダイバー放流 船上放流 船上放流	1.あわび放流関係 : 708,820 2.オコゼ放流関係 : 314,397 3.黒バイ放流関係 : 166,476 1,189,693	1.あわびは30mmサイズ6000ヶを放流。ダイバーを入れて赤灯台の漁礁、6基に放流した。 2.オコゼは40mmサイズ4200尾を浦郷の職員の協力を得て昨年同様、白浜に放流した。 3.親バイ貝70KGを3ヶ所から調達して、浅島、仁夫湾、薄毛湾の3ヶ所に放流した。
④漁場の生産力向上に係る事業 小計		7,596K		5,159,855	
新販売品開発 ④-11.黒なまこの流通改善 (個別事業計画 P-)	実施時期 : 12月~3月 動員数 : 4~5名 実施場所 : 知夫島全周 担当 : メンバー編成して対応する。 実施内容 : 販売方法⇒販売先⇒梱包、出荷荷姿	1.流通調査 : 120K 2.出荷、荷姿、パッケージ : 80K 小計:200K	第1段階 第2段階 実施時期 8月 2月 種類 さざえ用 活あわび用 宅配用 活なまこ用 じんば用 数量 2000枚 500~1000枚 用途 出荷用箱に貼り付け表示	1.さざえ、宅配用シール : 141,435 さざえシール追加 : 61,635 2.あわび、なまこ、じんばのブランドシール : 171,885 3.ナマコの営業 : 87,874 462,829	1.さざえ、宅配用シールを8月に始めて作り、使用開始した。ブランドイメージ向上目的として。 2.第2段階として2月に活あわび、活なまこ、じんばのブランドシールを始めて使用を開始した。 3.活クロナマコの営業を始めて実施。1月~3月水揚向上に大きく貢献出来た。出荷量増大、価格アップ。
新販売品開発 ④-12.ジンバの流通改善 (個別事業計画 P-)	実施時期 : 1月~3月 動員数 : 4~5名 実施場所 : 知夫漁港、仁夫湾 担当 : メンバー編成して対応する。 実施内容 : 漁業方法⇒販売先⇒梱包、出荷荷姿	1.流通調査 : 100K 2.出荷、荷姿 : 100K 3.長尾冷蔵庫整備 : 1,200K 4.その他 : 50K 小計:1,450K	山海ズケ用製品袋作成 時期 : 8月14日完成 枚数 : 13000枚 担当 : ジンバ加工会 責任者 : 山本峰代 製作 : (有)シールショップまつえ 冷蔵庫 山陰温調 専任グループ 小前由男	1.山海ズケ用袋 : 128,040 製品代(13000枚) 原版代(4面) : 113,400 冷蔵庫修理 : 1,192,417 1,433,857	1.知夫村の特産品として、恥ずかしくないパッケージデザインをし、合わせて食品表示義務に基づく表示をした。 2.鳥根島のアドバイザー「コンニャク先生」の食品表示方法の指摘もあり、次回には今一度、工夫が必要。 3.大型冷蔵庫は12月より加工品貯蔵に使用開始した。
⑤-05.「未利用魚の加工商品化、試験販売」 (個別事業計画 P-)	実施時期 : 9月~12月 動員数 : 4H*2人*20日=160H 実施場所 : 加工場 担当 : 加工グループを編成する。 実施内容 : レンコのヒモノ⇒真空パック⇒試験販売 アジのヒモノ⇒真空パック⇒試験販売	1.原料費 : 100K 2.加工費 : 100K 3.その他 : 0K 小計:200K	時期 12/07~12/25 内容 芝レンコダイの一夜干加工 数量 143セット、429尾 用途 「ふるさと小包」に販売 担当 専任メンバー4名 責任者 : 山本美津子	1.芝レンコダイ : 54,915 2.日当、4名 : 48,000 3.真空パック用袋 : 3,000 4.その他 : 2,340 108,255	1.12月の「ふるさと小包」より注文を受けて、芝レンコダイの一夜干し加工品、143セット/429尾を生産した。 2.製造原価:108,255円、売上高:74,480円で33,775円の赤字だった。原料高、製品在庫が要因だった。
④-13.流通体制の改善 活魚水槽	実施時期 : 9月~10月 実施場所 : 漁協の荷捌き場設置 担当 : 一本釣りグループよりメンバー編成 実施内容 : 装置の導入⇒運転試験⇒評価	1.活魚水槽 : 800K 小計:800K	活魚水槽 時期 8月供用 用途 一時蓄養 製作 ケンズ 担当 一本釣り 責任者 安藤龍治	1.活魚水槽関係 : 2,251,288 2,251,288	1.活魚水槽は8月に設置し、アカミズ、インダイ、サザエ、アワビの一時蓄養に使用を開始した。
④-13.魚価高付加価値化 フレークアイス製氷機	実施時期 : 9月~10月 実施場所 : 漁協の荷捌き場設置 担当 : 刺し網グループよりメンバー編成 実施内容 : 装置の導入⇒輸送による鮮度試験⇒評価	1.フレークアイス製氷機 : 2,200K 小計:2,200K	製氷機 時期 8月供用 用途 上コウリ 製作 扶洋 担当 刺し網 責任者 小新勝久	1.フレークアイス関係 : 2,805,277 2,805,277	1.フレークアイスは8月に設置し、水氷、下水に使用を開始。鮮度保持の為に従来氷と併用使用をはじめた。
④-14.その他			イベント参加 研究会参加	14.1文化祭参加/ヨコワナベ提供 : 11月 31,020 14.2研究会参加/3名:海士町 : 2月 9,300 14.3視察・研究会参加/3名:東京 : 3月 0 14.4境港市市場視察/10名:境港市 : 2月 0 14.5マッチングフェア-参加/2名 : 9月 0 40,320	1.ヨコワ釣り漁師の協力を得て、ヨコワジルを提供して地域の文化祭イベントに参加し、費用発生。100食分。 2.西郷、久見地区の特産品作りに対する取り組みについて、研究会が開催され、3名を派遣、費用発生。 3.その他のイベント・研究会参加には費用発生せず。
⑤-02.ヨコワ養殖をやってみよう。 (個別事業計画 P-)	実施時期 : 10月~12月 動員数 : 9船*2日=18船・日 実施場所 : 知夫漁港 担当 : ヨコワグループを中心にメンバー編成。 実施内容 : ヨコワの稚魚、ヤズなどを2~3Kまで養殖する。 稚魚の商品化、試験販売を実施する。	1.いけす製作費 : 400K 2.その他 : 100K 小計:500K	実質的活動なし。	費用発生なし。 0	1.ヨコワ稚魚蓄養に使用している生簀網を使用する予定だったが12月に網を陸上げの為に出来なかった。 2.自前の生簀網を検討して、是非、次年度には実施してみたい。ヨコワ、ヤズ、アジなどの短期間養殖を是非、実現したい。
⑤-04.燻製商品の試作試験販売。 (個別事業計画 P-)	実施時期 : 6月~2月 動員数 : 3H*3人*30日=270H 実施場所 : 作業場 担当 : グループ編成をして実施する。 実施内容 : 燻製の試作⇒試験販売	1.材料費 : 50K 2.人件費 : 50K 3.機材費用 : 100K 小計:200K	実質的活動なし。	費用発生なし。 0	1.全く着手出来なかった。未利用魚を有効利用する為に、次年度は是非、手がけてみたい。 2.機材購入、試作品作りまで次年度に検討したい。
⑤創意・工夫を活かした新たな取組に係る事業 小計		5,550K		7,101,826	
合計 ④+⑤		13,146,000 円	達成率:93.3%	12,261,681 円	